第2表 地方債

(単位千円)

| | 44. \ | ≻ !!- |
|--------|-----------------|--------------|
| | 木 推 進 | 問 |
| | 產資 | 貢 |
| 芈 | 紫金 | 9 |
| | 育島 黄 付 | Ш |
| | 数化化金 | 的 |
| · | | 限 |
| 4 | 4 | 東 |
| 42,500 | 42,500 | 菱 額 |
| 0 | 0 | 一 |
| | 神 | 桤 |
| , | 通 | 貢 |
| | | 9 |
| | 浜 | 方 |
| | 借 | 洪 |
| | 1. | 断 |
| | 1.0%以内 | |
| | 以内 | 树 |
| | 軍 | |
| | 是林漁 | 徸 |
| | 魚業信 | ALL A |
| | 林漁業信用基金の定める融資条(| ÀÚ |
| | 金の | |
| | 定め | 9 |
| | る融) | |
| | 資条作 | 方 |
| | 件によ | |
| | 130 | 洪 |
| | | |
| L | | |

12 平成22年度山梨県流域下水道事業特別会計予算

平成22年度山梨県流域下水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算) で・カーキンポポスケーのでは、歩ンポポストでトラングのである。

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ7,228,027千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

(債務負担行為)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表債務負担行為」による。(地方債)

第3条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表地方債」による。

Щ

梨

山梨県公報号外

第二十六号 平成二十二年三月三十一日

部代表表表 歲入歲出予算 (単位千円)

| | 6 県 債 | | 5 諸 収 入 | | 4 繰 越 金 | | 3 繰 入 金 | | 2 県 支 出 金 | | 1 分担金及び負担金 | 炊 |
|---------|---------|-----|---------|--------|---------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|---|
| 1 県 | | 1 雑 | | 1 | | 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | | 1 | | | | |
| | | | | 越 | | 7 | | 補助 | | 描 | | 風 |
| 重 | | 入 | | 全 | | 金 | | 金 | | 米 | | |
| | | | | | | | | | | | | 龄 |
| 434,000 | 434,000 | Н | 1 | 45,713 | 45,713 | 2,269,678 | 2,269,678 | 1,075,682 | 1,075,682 | 3,402,953 | 3,402,953 | 額 |

第2表 2 ယ 歳 4 × 綄 # \mathbb{H} 掝 癜 癜 債務負担行為 蔌 ᅱ 債 痽 火 袓 田 \succ 費 費 費 2 浜 □⊳ □⊳ 流 流 4 公 掝 掝 \dashv ᅱ 点 ¥ ¥ 痽 實 ᄪ 道 适 ## 徊 期 業 出 曹 曹 想 費 三 全 照 쬺 1,982,724 3,052,917 2,191,386 5,035,641 7,228,027 2,191,386 7,228,027 1,000 1,000 菮 繈

Щ

梨

| 354,000 千円 | 平成23年度 | 桂川流域下水道建設事業に係る桂川2号幹 線松留ポンプ場設備工事(上野原市)について請負契約を締結すること。 | |
|--------------|----------------------|---|---|
| 318,000 千円 | 平成23年度 | 桂川流域下水道建設事業に係る清流センター 汚泥脱水機設備工事 (大月市) について請 負契約を締結すること。 | |
| 1,500,000 千円 | 平成23年度から 平成24年度まで | 釜無川流域下水道建設事業に係る浄化センター水処理施設建設工事(南巨摩郡富士川町)について請負契約を締結すること。 | |
| 68,000 千円 | 平成23年度 | 映東流域下水道建設事業に係る峡東ネット ワーク幹線管渠敷設工事 (山梨市) につい て請負契約を締結すること。 | |
| 400,000 千円 | 平成23年度 | 富士北麓流域下水道建設事業に係る富士北麓3号幹線管渠敷設工事(富士吉田市)について請負契約を締結すること。 | |
| 234,000 千円 | 平成23年度 | 富士北麓流域下水道建設事業に係る浄化センター汚泥濃縮機設備工事(富士吉田市)について請負契約を締結すること。 | |
| | - E | L 季 學 夕 | ٦ |

第3表 地方債

(単位千円)

| | 甝 |
|--------------------------|---|
| | 重 |
| | 9 |
| | Ш |
| | 的 |
| | 暝 |
| | 殸 |
| | 額 |
| | 起 |
| | 重 |
| | 9 |
| | 方 |
| | 法 |
| 9.0% (たた 利率J | 利 |
| 9.0%以内 (ただし、 利率見直し | 例 |
| | 须 |
| | 漸 |
| | 9 |
| | 力 |
| | 法 |

13 平成22年度山梨県公債管理特別会計予算

平成22年度山梨県公債管理特別会計の予算は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ98,499,509千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表地方債」による。

第1表 歲入歲出予算 歲 入

(単位千円)

| 70,934 | | | 収入 | 搟 | 思 | |
|--------|---|---|----|---|---|--|
| 額 | 金 | 項 | | 款 | | |

Щ

梨 県 公 報 号 外 第二十六号 平成二十二年三月三十一日

Щ

| | 1 | |
|--|---|--|
| | 7 | |

| 98,499,509 | 뿌 | קם | λ | 燕 |
|------------|-------|-------|----|-----|
| 13,874,880 | 唐 | 1 県 | | |
| 13,874,880 | | · | 債 | 3 |
| 84,553,695 | 会計繰入金 | 1 — 烷 | | |
| 84,553,695 | | | 入金 | 2 繰 |
| 70,934 | 運用収入 | 1 財産 | | |

搬出

| 98,499,509 | | 뿌 | | מ | Œ | | 揻 | | |
|------------|---|--------------|------|------|---|---|----------|-----------|---|
| 70,934 | | 基金積立金 | 債管理基 | 1 県/ | | | | | |
| 70,934 | | | | | 肿 | Œ | M | 岩 | 2 |
| 98,428,575 | | 連曲 | 債 | 1 3 | | | | | |
| 98,428,575 | | | | | ے | 運 | ⇒ | \bowtie | _ |
| 額 | 龄 | | 項 | | | | 荥 | | |
| | | | | | | | | | 1 |

| 14 平成22年度山梨県営電気事業会計予算 (総則) 第1条 平成22年度山梨県営電気事業会計の予算は、次に定める (業務の予定量) 第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。 (1)年間目標供給電力量 473,792,000キロワットアワ (収益的収入及び支出) 第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。 第1款 電気事業収益 第1項 営 業 収 益 第2項 財 務 収 益 3,721,120千 | | 神 | 起債 |
|--|------------|--|---|
| 学年度山梨県管 「年度山梨県管 「成22年度山梨 「定量) に量) 日標供給電力 入及び支出) 込的収入及び 上ので 大ので 大ので 大ので 大ので 大ので 大ので 大ので 大 | ᄜ | 樹 | 9 |
| 本 は は () () () () () () () () () | | | Ш |
| 気事業会計予算 営電気事業会計の3 次のとおりとする。 473,792,1 出の予定額は、次の人 入 | | 有 | 的 |
| 計予算 禁業会計 10とす 473,7 | 1: | 18 | 麗 |
| ↑の子: ↑の子: 792,00 次の. | 13,874,880 | 13,874,880 | 戽 |
| 章 で の 中 ロ こ 3 3 | ,880 | ,880 | 籢 |
| 計予算 業会計の予算は、次に定めると りとする。 473,792,000キロワットアワー 類は、次のとおりと定める。 3,749,644千円 3,721,120千円 | | 音は | 問 |
| 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | 通價 | 貢 |
| ١١ | | 貸券 | 9 |
| ያ ር፲ አ | | 借発 | t |
| Ů | | 又行 | 洴 |
| 第3項事第4項特別 第1款 電気第1款 電気第1項 時第1項 時第2項 財第2項 財第3項 事第3項 事第4的収入及(資本的収入及 | | 6.0%以のおれた。 (とお別ののなれた。) (と記述なれたに利し、 (と記述ないのななに、 (と記述ないの行お、は自相ないのないとは、 (と記述のとなる、 (と記述のとなる、 (の記述のとなると、 | <u>*</u> |
| 『 『 』 『 』 『 』 『 』 『 』 『 』 『 』 』 『 』 『 | | 内、しり金、直たて見利 | |
| 第3項 事業外収益 10,591千円 第4項 特 別 利 益 30千円 大 出 3,384,391千円 第1 京 | | 政府資金については、その融資条件により、 行その他の場合には、その債権者と協定する のとする。ただし、財政その他の都合により 置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上 還又は低利に借換えをすることができる。 | 河 |
| 1 | | からられば、現場では、現場では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 阃 |
| ボ (の (の) | | ・、計ををそそを改復すののぞ締る | 9 |
| 10 3,384 3,236, 91, 51, 51, 10と康 | | 融債のごう資権他、と | |
| 10,591千円 30千円 3,384,391千円 3,236,465千円 91,325千円 51,571千円 30千円 5,000千円 りと定める(1 年度分消費税: | | その融資条件によその債権者と協定 その債権者と協定 す政その他の部合に が短縮し、若しくは | 方 |
| 9 9 9 9 9 9 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 | | その融資条件により、銀 その債権者と協定するも す政その他の都合により据 を短縮し、若しくは繰上償 ですることができる。 | 洴 |
| | | | |

Щ

補てんするものとする。》 本的収支調整額64,164千円、 振興・環境保全積立金475,000千円及び過年度分損益勘定留保資金853,043千円で 中小水力発電開発改良積立金96,600千円、 地域文化

| 1,726,804千円 | | | | H | 的表 | 資本的支出 | 第1款 | |
|-------------|---|----------|----------|---------|------|-------|-----|--|
| | Œ | | <i>\</i> | ᄲ | | | | |
| 1,223千円 | | .— \\ | 出 | 盒 | ## | Н | 第4項 | |
| 96,600千円 | | 出 | 眇 | 編 | 庫 | H | 第3項 | |
| 140,004干円 | | 憲金 | | 長期貸付金償還 | 期貨 | | 第2項 | |
| 170千円 | | 代金 | ē 掛 | 資産売却代金 | [正 | 머 | 第1項 | |
| 237,997千円 | | | | 7 | 本的収入 | 資本 | 第1款 | |
| | > | | ~ | 톳 | | | | |

202,860千円 393,750千円 721,582千円

小水力発

電紅角

建設

水力発電設備改良費 メガソーラー発電所建設費

貉

첫

備设

屈

14,700千円 8,336千円

279,276千円 6,300千円

水力発電設備改良調査費

運

阈

宝

EE

水力発電地点等開発調査費

100,000千円

第5条 継続費の総額及び年割額は、次のとおりと定める。

(継続費)

第8項 第7項 第6項 第5項 第4項 第3項 第2項

| 1 資本的又由 | 款 | | |
|---------------|------------|-----|--|
| 1 光 电 川 建 設 費 | 水電 | 眞 | |
| 売 | 発 | | |
| 493,000 1773 | 総額 | | |
| 平成23年度 | 平成22年度 | 年 度 | |
| 292,740 千円 | 202,860 千円 | 年割額 | |

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおり と定める。

(1) 営業費用と事業外費用との間

「議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を 経なければならない。 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に

961,543干円

(たな卸資産購入限度額)

(1)職員給与費等

第8条 たな卸資産の購入限度額は、10,000千円と定める。

15 平成22年度山梨県営温泉事業会計予算

第一架 平成22年度山梨県営温泉事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、 次のとおりとする

(1)給湯

549□

(3)一日平均給湯量

(2)年間総給湯量

863,000立方メートル

(収益的収入及び支出)

2,364立方メートル

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、 次のとおりと定める。

>

第1款 第2項 温泉事業収益 秥 吗 外収 덛 덛 烂 邶 邶 Œ 156,734干円 157,429千円 685千円 10千円

써

温泉事業費用 貫 \boxplus

150,005千円 563千円

152,078千円

旦 尴 朱

1,000千円 510千円

(資本的収入及び支出)

第4項 第3項 第2項

ᆌ

牃

外費

田

% % 的収支調整額5,586千円及び建設改良積立金111,676千円で補てんするものとす 本的支出額に対し不足する額117,262千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資

与

第1款 資本的収入

10千田

第1項 固定資産売却代金

10十田

Œ

第1款 資本的支出

温泉事業設備改良費

117,272千円

117,272千円

予定支出の各項の経費の金額の流用

第5条 と定める 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおり

(1) 営業費用と営業外費用との間

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第6条 経なければならない。 流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、 次に掲げる経費については、 その経費の金額を、 それ以外の経費の金額に 議会の議決を

43,592千円

(1)職員給与費等

(たな卸資産購入限度額)

第7条 たな卸資産の購入限度額は、1,000千円と定める。

16 平成22年度山梨県営地域振興事業会計予算

(総則)

第1条 (業務の予定量) 平成22年度山梨県営地域振興事業会計の予算は、 次に定めるところによる。

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする

(1)丘の公園年間総収容人員

235,259人

(収益的収入及び支出) 収益的収入及び支出の予定額は、 次のとおりと定める。

>

与

第1款 第3項 第2項 地域振興事業収益 祚 堲 外収 덛 爅 北国 136,503干円 136,621千円 108千円 10千田

Œ

써

第1款 第4項 第3項 第2項 地域振興事業費用 祚 ⊪ 맫 \$ 鬒 尴 鴽 田 # 田 212,017千円 203,913千円 7,094千円 1,000千円 10千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資 本的支出額に対し不足する額45,495千円は、当年度分損益勘定留保資金で補てん

| (1)営業費用と営業外費用との間 | と定める。 | 第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおり | (予定支出の各項の経費の金額の流用) | 第5条 一時借入金の限度額は、80,000千円と定める。 | (一時借入金) | 第3項 予 備 費 | | Ж | 第1款 資本的支出 | M E | 第1項 固定資産売却代金 | 第1款 資本的収入 | ₽ Z | するものとする。) |
|------------------|-------|---------------------------------------|--------------------|------------------------------|---------|-----------|----------|---------|-----------|--------|--------------|-----------|--------|-----------|
| | | ることができる場合は、次のとおり | | 定める。 | | 1,000千円 | 40,005千円 | 4,500千円 | 45,505千円 | | 10千円 | 10千円 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |